

県民の皆さんへ

「令和2年版 成果レポート～成果の検証と改善に向けた取組～」を公表します。

この令和2年版成果レポートは、「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」の4年間の振り返りと令和元年度に取り組んだ事業の成果の検証とともに、「みえ県民カビジョン・第三次行動計画」における令和2年度の取組の方向とめざす目標値を、県民の皆さんにご報告し、今後の県政運営に対するご意見やご提案をいただくことを目的に作成しました。

「平成」から「令和」へと元号が改められ、新しい時代となった今、第二次行動計画の4年間の振り返ると、平成28年度に開催された「伊勢志摩サミット」により、三重県が誇る美しい自然や豊かな食の魅力、日本を象徴する伝統・文化が国内外に発信されるとともに、皇太子殿下（当時）にもご臨席いただいた全国高等学校総合体育大会「2018 彩る感動 東海総体」では、全国から集まった高校生トップアスリートや三重県勢の活躍、大会を支えた県内高校生による最高のおもてなしにより多くの方々に勇気と感動を与え、平成最後のインターハイとして記憶に残る大会となりました。

また、南海トラフ地震に備えるとともに、CSFやアコヤガイの大量へい死、新型コロナウイルス感染症という新たな脅威等に対しても被害を最小限とするため、必要な対策を迅速に実施してきました。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会の持続可能性について考える機会となり、デジタル技術がその対策に重要な役割を果たすことを示唆しており、今年度からスタートした「みえ県民カビジョン・第三次行動計画」の理念である「SDGs」と「Society5.0」の視点の重要性を改めて際立たせました。

こうしたことをふまえ、「令和2年度三重県経営方針」では、「新型コロナウイルス感染症への緊急対策」を講じることとともに、注力する取組として、『「命」「安全・安心」を大切にする三重』、『「包容力」「多様性」「持続可能性」を大切にする三重』、『「未来への希望」「挑戦」を大切にする三重』、『「三重とこわか国体」「三重とこわか大会」を成功させる三重』の4つの柱を掲げています。

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中ではありますが、「みえ県民カビジョン・第三次行動計画」のスタート年度において、県民の皆さんや市町等と連携しながら、三重県経営方針に掲げた注力する取組をはじめ、県政の諸課題にしっかりと取り組み、県民の皆さんに成果を届けていきたいと考えていますので、忌憚のないご意見をいただくとともに、今後の県政運営に対する一層のご理解とご協力をお願いいたします。

令和2年7月

三重県知事 鈴木 英敬